

平成30年度事業計画

I. 平成30年度の取り組み方針

- ・ I o T ・ A I ・ ビッグデータ ・ ソフトウェア等の新技術が、それを利用した商品・サービス・ビジネスモデルを創出する一方、生活場面での利用が進行した結果、経済活動から消費活動まで広範囲での大変革をもたらしている。また、人口減少や人手不足、生産性向上等の社会的な課題も顕在化している。
- ・ これらの変革や課題に対応し、新しい事業を興すには1社の技術や知識等だけでは限界があり、それまでのモノ・仕組みなどに対して新しい技術や考え方を取入れて、新たな価値を生み出し、用いられることにより、社会的にも経済的にも大きな変化を興すと同時に経済社会の課題を解決するオープンイノベーションが求められている。
- ・ このような今日的な課題を踏まえ、平成30年度は KICC の仕組みを活用したニーズとシーズを繋ぐ（Connected）という基本方針の下、設立当初の平成20年度からの目的である「オープンイノベーション」を推進する。
- ・ そのため、まず、開放試験研究機器の更新と利用促進を図る。
- ・ 新たに、最新の企業のニーズ（課題）と大学・高専・公設試の技術シーズを収集し、提供する。
- ・ 次に、それらのニーズ（課題）とシーズを繋ぐため、事務局及び KICC 構成機関の各コーディネータのネットワークを再構築し、個別のマッチングを行うとともに企業の技術課題解決に資するワンストップサービスを行う。
- ・ さらに、九州域外の企業ニーズ（課題）と九州企業のシーズを WEB 上で公開するとともに、各機関コーディネータ等による個別のマッチングを行う。
 1. 構成機関のネットワークの維持、継続（継続事業）
 2. 開放試験研究機器等データベースの更新と活用促進（継続事業）
 3. 企業の技術課題解決に資するワンストップサービスの推進（継続事業）
 4. 成功報酬型コーディネータ事業の拡充（継続事業）
 5. オープンイノベーション・ソリューション・サイトの活用（継続事業）
 6. 広報活動の実施（継続事業）
 7. 企業のニーズ・シーズの収集とデータベース化及び大学・高専・公設試の技術シーズとの情報の共有（新規事業）
 8. 各機関コーディネータのネットワークの構築とマッチング（新規事業）

II. 個別の取り組み

1. 構成機関のネットワークの維持、継続（継続事業）

（1）通常総会の開催

- ・平成30年8月1日（水）、ハイアット リージェンシー 福岡（福岡市）において、平成30年度の通常総会を開催し、平成29年度事業報告や平成30年度事業計画（案）等に関して所要の審議を行う。

（2）特別講演会の開催

- ・通常総会終了後、近時の社会経済情勢の変革への対応方法の1つであるオープンイノベーションをテーマに特別講演会を開催する。
- ・講演者は、大阪ガス株式会社、株式会社 安川電機、エネフォレスト株式会社

2. 開放試験研究機器等データベースの更新と活用促進（継続事業）

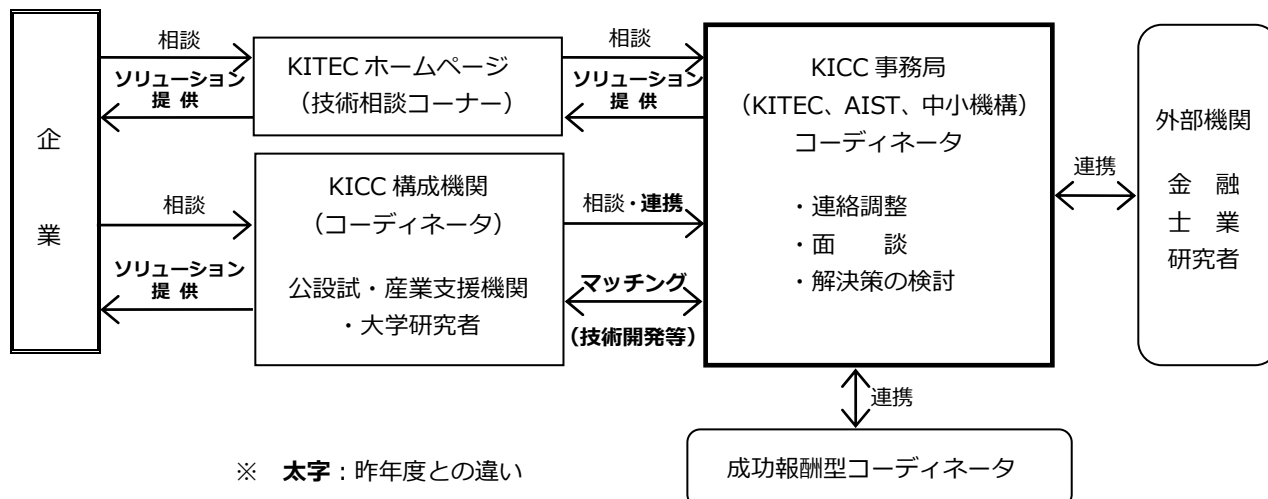
- ・最新のデータに追加・更新するとともに、KICCのWEBサイトを通じてPRと利用促進に努める。
- ・なお、本データベースの更新等にあたっては、工業系公設試連携事務局等の構成機関の協力の下で事務局が調査を行うこととする。
- ・公設試データベース（登録機関13機関）、
大学・高専等データベース（登録機関20機関）

3. 企業の技術課題解決に資するワンストップサービスの推進（継続事業）

（1）ワンストップサービスの推進

- ・企業の様々な技術課題に対し、KICCの「技術相談ワンストップサービス」の仕組みを活かした取り組みを行う。
- ・具体的には、技術相談について、KICC事務局のKITECとAIST Kyushuのコーディネータ等が対応するとともに、案件次第ではKICC構成機関のネットワークの活用や金融機関、土業等と連携して、ソリューションを提供する。
- ・また、KICC構成機関の研究者等とのマッチングが必要な案件については、企業と大学・高専・公設試とのマッチングや産学連携を支援することにより、課題解決を促進する。

技術相談ワンストップサービスの仕組み（平成30年度）



(2) 九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー

- ・ AIST Kyushu や各県公設試の最新の技術情報を発表し、共同研究や技術移転に繋げるため、「九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー」において、技術相談会や経営相談会を開催する。
- ・ 開催日：平成30年11月16日（金）～17日（土）
開催場所：[ポスター展示・相談会]

宮崎県工業技術センター

（宮崎市佐土原町東上那珂 16500-2）

[講演会・合同成果発表会]

（株）宮崎県ソフトウェアセンター

（宮崎市佐土原町東上那珂字長谷水 16500 番地 2）

主な内容：技術相談会、経営相談会、事業化事例、公設試と企業の合同成果発表会

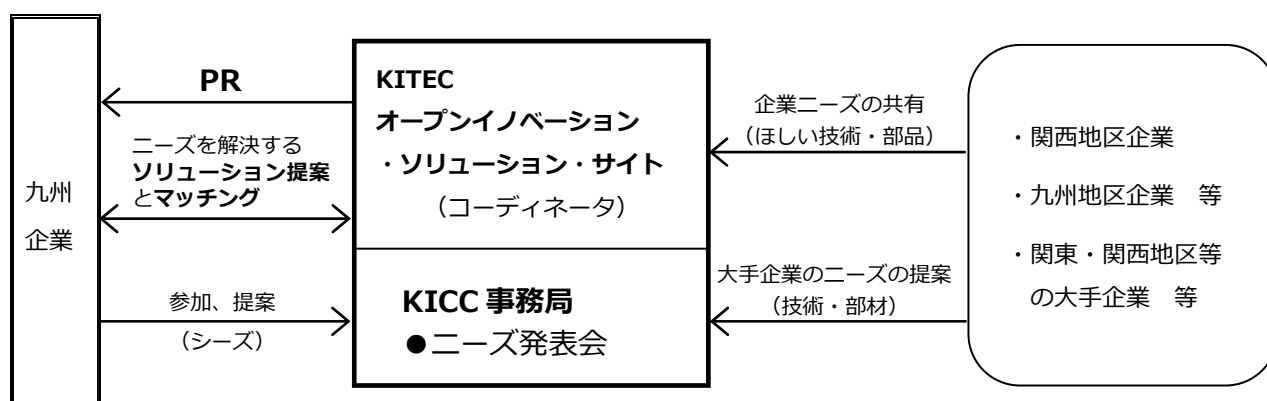
4. 成功報酬型コーディネータ事業の拡充（継続事業）

- ・ 成功報酬型契約等に基づき、個々の企業の研究開発から事業計画・販路拡大までを伴走し、事業化を図る成功報酬型コーディネータ事業については、企業等が求める技術課題や事業化が多様化・複雑化していることに鑑み、オープンイノベーションの視点から KICC 構成機関や事務局のコーディネータ等との連携を拡充することで、技術課題解決や事業化を支援することにより、多様なイノベーションの創出に取り組む。
- ・ また、IoT等のデジタル分野の新しいニーズに応えるため、KICC 構成機関や外部機関との連携を強化する。

5. オープンイノベーション・ソリューション・サイトの活用促進（継続事業）

- 九州、関西の企業等の技術課題（企業が外部に求める技術や部品）を KITEC のオープンイノベーション・ソリューション・サイトに掲載（オープン化）し、それに対し、九州の企業等のソリューションの提案やマッチングをコーディネータが仲介して支援する。
- ニーズとシーズ（ソリューション）をオープンな形でマッチングすることにより、企業の新規取引の拡大や新事業の創出を支援する。
- また、大手企業が必要な技術や部材等のニーズを発表（オープン化）して、中小企業等の取引拡大等を支援する「ニーズ発表会」を開催する。

オープンイノベーション・ソリューション・サイトの全体図



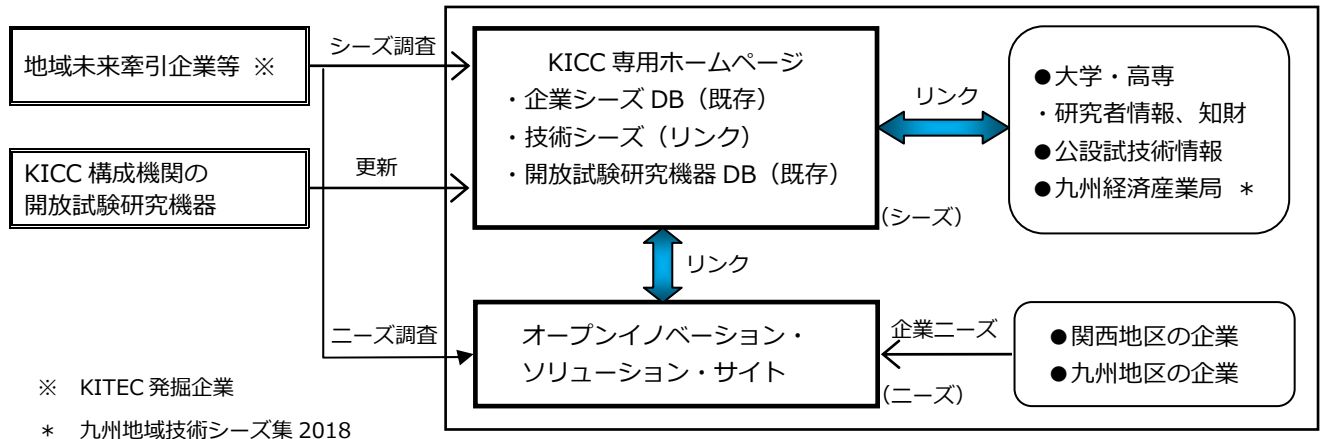
6. 広報活動の実施（継続事業）

- KICC の専用ホームページを通して、関連情報の提供、技術相談ワンストップサービスの紹介、開放試験研究機器や研究者の情報等の広報活動を実施するとともに各種の機会を通して KICC の活動の PR に努める。

7. 企業のニーズ・シーズの収集とデータベース化及び大学・高専・公設試の技術シーズとの情報の共有（新規事業）

- 企業のニーズ（課題）と大学・高専・公設試及び企業等のシーズを繋ぐことによる取引の拡大や新商品・サービスの開発を通じたイノベーションを推進するため、その基盤となるニーズとシーズを収集し、共有を行う。
- まず、九州の地域未来牽引企業等のシーズを調査し、データベース化し、KICC の専用ホームページで公開する。
- 次に、KICC の WEB サイトと九州の大学・高専・各県の公設試等の研究者情報や研究成果・知財等が掲載された WEB サイト（シーズ）や九州経済産業局の九州地域技術シーズ集 2018 とリンクし、情報の共有化を図り、アクセスを容易にする。
- さらに、関西地区の企業ニーズが掲載された KITEC のオープンイノベーション・ソリューション・サイトとリンクすることで、KICC 構成機関間でニーズ・シーズの情報の共有化を促進する。

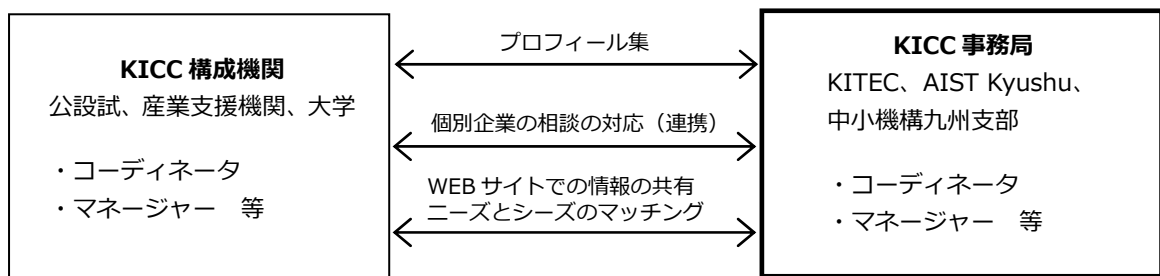
KICC の専用ホームページによるニーズとシーズのオープン化（全体図）



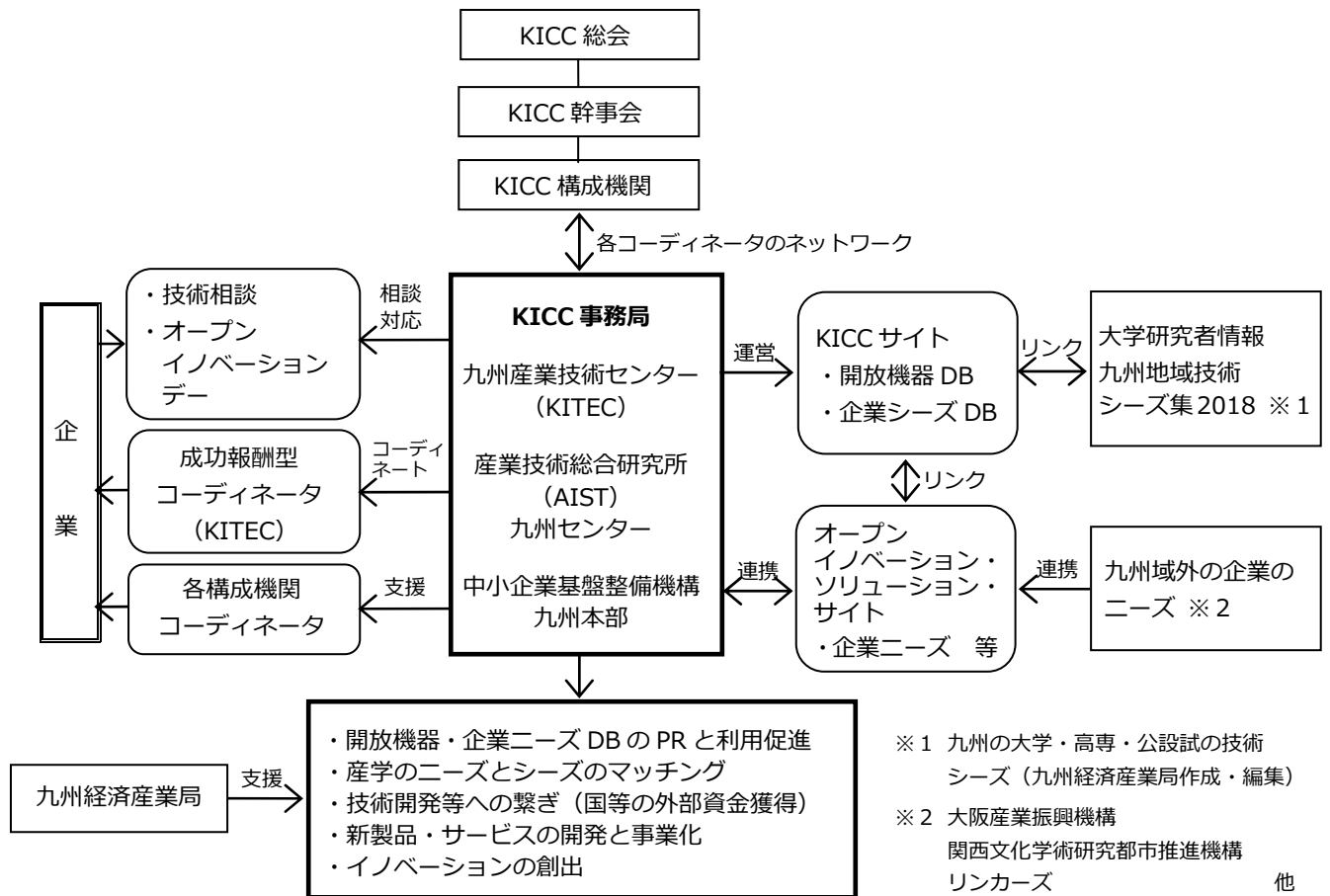
8. 各機関コーディネータのネットワークの構築とマッチング（新規事業）

- ・ KICC 構成機関のコーディネータ・マネージャー等の連携・交流を図るため、プロフィール集を作成し、配布する。
- ・ また、技術相談や経営相談等に対し、コーディネータのネットワークを活用して解決する。

KICC 構成機関のコーディネータのネットワーク図



KICC 取組体系図



Ⅲ. 予算額

- ・ 200万円を計上し、通常総会・特別講演会をはじめ、ニーズ（課題）調査や KICC 構成機関のコーディネータのネットワーク形成、KICC の専用ホームページやオープンイノベーション・ソリューション・サイトの改善等に充当する。

以上